

第565回川崎医学会講演会

日時：令和 7年 6月 2日（月）17:00～18:00

場所：図書館小講堂 座長：松田 純子



診断力を伸ばすために

獨協医科大学総合診療医学
教授 志水 太郎先生

医師が診断力を伸ばすためには、実地またはオフザジョブにおいて、症例の実践に基づいた振り返りを反復することが効果的である。単独での修練は効率が良いが、一方で集合知による複眼的・メタ認知的な訓練が果たす教育的役割も大きい。このような効果を最大限に引き出すのがClinical Problem Solving形式の症例検討である。順次に情報が小出しに提示される症例において、適時の判断を、与えられた情報をもとに考え、その時点での最適解を出していくという作業とその振り返りは、他に比肩しない学習効率を生むことが期待される。本講演ではその実演を、提示症例を通して行う。

※総合医療センターにてTV会議システムを介して参加をご希望される方は

5月26日(月)までに医学会講演会HPの予約フォームよりご予約ください。

※大学院生で講義として受講する場合は必ず教務課（大学院）へ問い合わせてください。

お問い合わせ先：川崎医学会講演会担当内線：26034・36

《皆様のご来聴をお待ちしております》